

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
13120	健康福祉局 こども育成部	こども育成課	課長	越智 裕	042-769-9811
施策名	子育て支援の充実				

1 施策の目的

近年、子どもたちと家庭を取り巻く社会環境の状況は、少子化の進行、家族の核家族化、地域コミュニティの希薄化等により大きく変化している、このようなことから、次代を担う子どもたちの健やかな育成のために、平成17年3月に「相模原市次世代育成支援行動計画」を策定し、本市が今後推進していく子育て・子育て支援施策の方向性や目標を定めた。現在、行動計画に基づき、子どもを持つ家庭を地域で支援する「相模原市ファミリーサポートセンター事業」や「子育て広場」の運営を行うとともに、児童クラブやこどもセンターの計画的な整備のほか、児童虐待防止事業の取組や手当の支給、相談業務の実施など、さまざまな子育て支援事業に取り組んでいる。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

本市が推進している子育て・子育て支援施策の方向性や目標を定めた次世代育成支援行動計画の構成事務事業について、市民の代表者等で構成する「相模原市次世代育成支援行動計画推進会議」の中で実施状況の把握と点検・評価を行った。

- 育児の相互援助活動を支援するための相模原市ファミリーサポートセンター事業の実施。(H19年度実績 会員数1,253人(H20年3月末)活動件数14,013件)
- 地域の人材を活用した常設的なつどいの場(子育て広場)を設置し子育て支援を実施した。(平成19年度 清新こどもセンター、大野台こどもセンター、橋本こどもセンターの3箇所を追加(実施箇所合計6箇所))
- 児童クラブの待機児童解消のため児童クラブの整備を進めた。・児童クラブ整備(新設2箇所、移設3箇所、再整備1箇所)
- 老朽化した児童館の施設建替え、公立児童の設置要望に対応するためこどもセンターの整備を進めた。(横山)

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

子育ての手助けを受けたい利用会員と子育ての手助けを行いたい援助会員を結び付け、育児の相互援助活動を支援するための「相模原市ファミリーサポートセンター事業」は地域の子育て支援の充実を図るために有効な事業のひとつであり、援助会員の確保については事業の円滑な推進のために重要であることから、会員登録率を指標に掲げ、平成20年度においては援助会員の登録率増加の方策として、援助会員の会費について、活動の実態に応じた納入方法に変更し会員の負担軽減を図る取組をしてきたが、目標達成はかなわなかった。

しかし、援助会員については、年度更新の際の退会者数に歯止めをかけることができ、会員増加のきっかけとなるものであった、今後は事業の充実と更なる市民への周知が必要と考えている。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
------	---	------	---	------	---

- ◆ 指標1「ファミリーサポートセンター会員登録率」については、中核市ベースの目標ではなく、相模原市として意思をもった目標値設定を行うこと。
- ◆ 構成事務事業のグループ化などを行い、ターゲットの明確化をはかり、効果的な資源投入を行う必要がある。

5 改善に向けたスケジュール

改善項目	平成 20 年			平成 21 年												平成 22 年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①指標の目標値の見直し(ファミリーサポートセンター会員登録率)																		
目標設定の見直しに関して、課内で論議を行う。	→																	
本市と人口規模等が類似する他都市での事業実施状況を調査する。				→														
新たな目標設定をする。						● 設定												
②ニーズ調査																		
相模原市次世代育成支援行動計画ニーズ調査の調査項目の検討をする。	→																	
アンケート及びヒアリングによる調査の実施				→														
調査結果の集計及び検証					→													
相模原市次世代育成支援行動計画の後期計画への反映							→											
③事務事業整理																		
相模原市次世代育成支援行動計画の後期計画の事務事業の検証・整理							→							●				

【パプコメの実施】